
令和5年度 事業報告書(案)



社会福祉法人 種崎福社会

種崎保育園

令和5年度 種崎保育園 事業報告書

令和5年5月に新型コロナウイルスが5類に変わり、少しずつ通常の生活に戻りつつあることを実感できる一年でした。

行事も人数制限なしで行う中でも、密接にならないような活動内容を考えたり、状況により保護者にマスク着用をお願いし、5類になった現在も検温、視診に配慮し、玩具や室内の消毒は毎日行っています。大きな感染は食いとどめることができましたが、今までにないインフルエンザの大流行で12月の発表会を2週間延期せざる負えない事態も発生し、保護者の方にはご迷惑をおかけしてしまいました。

また厚生労働省が発表した人口動態統計によると、2023年に生まれた赤ちゃんの数は、過去最少の75万8631人、高知市においても2,006人と前年より193人減少し、高知県の出生数は都道府県別で最低でした。

当園では31名でスタートし、入退園があったものの増減がすくなく、3月末は、30名で締めくくることができました。今後も園児数が減少することは避けられない状況ですが、園としてできる事を真剣に考えるとともに、今まで以上に人とのつながりの心地よさを感じる価値観を持った子ども達に育ててもらえるよう、より一層子どもや保護者に寄り添った温かい保育を目指していきたいと思います。

(1) 保育時間

平日…7:15～19:00(18:30以降は、延長保育)

土曜…7:15～17:30

(2) 児童数の推移 (単位:名)

	5歳児	4歳児	3歳児	2歳児	1歳児	0歳児	計
4月	6	8	4	4	6	3	31
5月	6	7	4	3	6	4	30
6月	6	7	4	2	6	4	30
7月	6	7	4	2	6	4	30
8月	6	7	4	2	6	4	30
9月	6	7	4	2	6	4	30
10月	6	7	4	2	5	4	28
11月	6	7	4	2	5	5	29
12月	6	7	4	2	5	5	29
1月	6	7	4	2	5	5	29
2月	6	7	4	2	5	6	29
3月	6	7	4	2	5	6	30
	平均						29.5

(3) 職員数 (令和6年3月現在) (単位:名)

園長	主任保育士	保育士	看護師	調理員	パート	嘱託医	計
1	1	6	1	2	4	2	17

☆パート…事務・補助調理員・フリー保育士・早出、居残りを含む

☆嘱託医内訳…内科医 1名 (坂井内科小児科)

歯科医 1名 (小松歯科)

(4) 事業報告

【行事関係】（年間事業報告より抜粋）

(4月)こいのぼり運動会・・・人数制限なしで開催。登園時の検温、消毒は行うが、記録はせずに、行う。
おじいちゃんたちの参加もあり、通常開催になった、喜びの声が聞かれた。

(5月)交通安全指導・・・年長・中の参加で、比島交通公園にて行う。
ミュージカル観劇・・・年長・中が参加

(6月)参観日・・・・・・・・全クラスで行っている毎朝の運動遊びの様子を見てもらい、その後各クラスでの参観を行う
乳児は、普段の様子を撮影したものを映像で流して見てもらった。

(7月)元気っこまつり・・・午前中に行う。
太鼓や踊りを各クラスが披露した後、子ども達が喜ぶゲームやおもちゃを販売する。
卒園生を招待することができ、数年ぶりに活気ある「元気っこまつり」を開催することができた。

保幼小連携・・・・・・・・十津小学校岡崎教頭先生が、一日保育士体験研修で年長・中のクラスに入る。

(9月)敬老手紙・・・・・・・・敬老の方に子ども達が年齢に応じた作品を制作し、送った。

(10月)運動会・・・・・・・・年中児のカラーガード、年長児の鼓隊でオープニングを飾り、開始する。
昨年、年長のみだった親子競技を各クラスが行うことができ、保護者も喜んでくれた。

(11月)お芋ほりごっこ・・・園庭のプランターで栽培したお芋を掘って楽しむ。

視力検査・・・・・・・・4・5歳児を対象に看護師の下検査を行う。気になる子どもに関しては、保護者に連絡をし、病院を受診してもらい、早期発見に努める。

勤労感謝のポスター配布・・・港湾事務所・三里交番・三里郵便局・坂井内科小児科

(12月)生活発表会・・・12月9日の予定を23日に変更して行う。保護者の方も仕事の都合をつけてくださり、全員参加で行うことができた。

(1月)年始の街見学・・・年長のみ参加。

タクシーで行き、木曜市を見学。おこづかいで買い物を楽しむ。

おもちつき・・・お餅つき体験用のもちを準備し、子ども達が杵で餅つきを体験したり、餅の感触を楽しむ。(体験用は廃棄) 一人用の皿にきな粉、砂糖じょうゆ、あんこをいれ、感染対策を行いながら楽しむことができた。

参観日・・・・・・・・外部より講師をお呼びして、舟倉津波避難センターで行う。

講師)ダンス講師 中野聖子先生

年齢に応じた無理のないプログラムで、親子で楽しむことができた。

参観前に、引き渡し訓練を行う。参観後は、潮見台青少年育成協議会他の方のご厚意で「ポン菓子」を作る様子や、できたものを配布していただき、子どもも保護者も「初めてのことでした！」「おいしかった！」とたくさんの方が聞かれた。

当日、桑名市長も参加していただき、全員で記念写真を撮ったり楽しい時間を過ごすことができた。

(2月)年長お楽しみ会・・・毎年園児だけで見学していた、「オーテピア」に親子で見学し、科学の体験をする。
その後、木曜市に行き、買い物を楽しむ。(現地集合、現地解散とする)

(3月)卒園式・・・・・・・・人数制限なしの卒園式を行う。来賓もご招待し、在園児は4歳児が代表として参加する。

作品展・・・・・・・・舟倉津波避難センターで行われる「種崎作品展」に全園児が出品する。

事業報告書

月	日	内容	月	日	内容
4月	4	入園・進級式	11月	1	おいもほりごっこ
	13	内科健診		6~18	学短保育実習
	14	誕生会		10	親子遠足(みかん狩り)
	15	保護者会総会		15	歯科健診
	19	こいのぼり運動会		17	誕生会
5月	10~12	三里中職場体験	12月	21	勤労感謝ポスター配布
	17	年長中交通安全指導		30	三里小「秋のおもちゃまつり、
	19	誕生会	12	クリスマス会・誕生会	
	22	年長中ミュージカル観劇	23	生活発表会	
	25	4・5歳児尿検査	1月	10	おもちつき
6月	3	参観日		11	年長年始の街見学
	7	歯科健診		12	卒園・進級写真撮影
	9	誕生会	27	参観日「ダンスであそぼう♪」	
7月	3	プール開き	2月	2	節分・誕生会
	7	七夕まつり・誕生会		29	年長親子お楽しみ会
	8	元気っこまつり	3月	1	ひなまつり・誕生会
9月	4	プール納め		7	お別れ園外保育
	6	「ダンスであそぼう♪」		9~10	種崎作品展
	11	敬老手紙投函		14	お別れパーティー
	15	誕生会		15	新入児説明会
10月	20	年長中視力検査	22	修了式	
	3	小運動会	23	卒園式	
	7	大運動会	※毎月避難訓練・体育教室・硬筆教室・随時絵本の読み聞かせを行う ※2か月に1回の身体測定 ※4・5歳児は毎日のフツ素洗口		
	19	内科健診			
	20	誕生会			
	27	交通安全教室(3歳以上)			
30	「ダンスであそぼう♪」				

(5) 令和5年度 その他の取り組み

【熱中症アラーム購入】

気温が高い日が続き、熱中症対策のため「熱中症アラーム」を3台購入
保育士が身に付け、水分補給とともに、子どもの安全を確保する。

【服パジャマ導入】

研修報告及び避難訓練での反省をもとに、職員間で話し合いを行った。
今までは、パジャマに着替え午睡を行っていたが、安全面また寒い時期の避難等を考え、「服パジャマ」を持参してもらい、それに着替えて午睡をすることにする。

【AED導入】

緊急時の生命維持対応のため、12月に導入する。令和6年度4月、6月に救急救命講習を予定している
4月)園内研修 6月)消防署立ち合いAED訓練

(6) 研修状況

日 時	研 修 名	参加者
6/1~11/15	子育て支援員研修	村 木
5月29日	SIDS予防講習会	久 武
6月12日	高知市保育所食育研修会	中 川
6月15日	プール管理講習	高 瀬
6月22・23日	アレルギー対応研修	高 瀬
6月29日	人権研修	久 武
6月30日	第2回高知市乳児研修	西 岡
7月5日	園内研修 アレルギーの対応について	全職員
7月19日	キャリアアップ研修 食育・アレルギー対応	西 村
7月21日	親育ち支援講座	岩 下
7月25日	キャリアアップ研修 小学校との接続	西 岡
8月1日	小中連携夏季合同研修会	花牟・
8月22日	キャリアアップ研修 食育・アレルギー対応	西 村
9月26日	キャリアアップ研修 食育・アレルギー対応	西 村
9月29日	保育現場における感染症対策の基本 情報交換	竹 内
10月11日	救命救急講習会	高 瀬
10月17日	園内研修 感染症及び食中毒の予防、まん延防止、嘔吐物処理実技演習	全職員
10月27日	高知市子育て支援研修	西 村
10月30日	教育・保育施設における感染症対策研修	久 米
11月2日	四国ブロック保育組織次世代リーダー研修会	西 岡
11月21日	ブロック別研修会	花牟・
12月26日	キャリアアップ研修 小学校との接続	西 岡
2月13日	キャリアアップ研修 小学校との接続Ⅲ	西 岡

(7) 各種訓練実施報告

月日	訓練種別	ねらい	反省
4/26	避難・消火 地震・津波	地震の際の基本的な避難行動を身に付ける	新しい環境になり、初めての避難訓練だったが、放送が鳴るとすぐに保育士の下に集まったり、注目する子がほとんどで毎月の訓練が身につけていることを実感した。雨天のため廊下への避難だったが、かえるのポーズも身につく、真剣な表情で踏ん張る姿が見られた。
5/24	避難・消火 地震・津波	避難訓練の意味を理解し、保育者の指示に従い、慌てず、安全な場所に避難する	今までと違う反省点が浮かび上がり、職員間で反省をもとに話し合う機会を設けることができた。乳児は、予備のヘルメットを常に1階におき、その度に持ち運びをしないようにできないか確認する。エビペンは特に避難時に慌てないよう園庭に出るときは、保冷の袋に入れ、ヘルメットの箱の中に入れることにし、職員間で共有した。
6/28	避難・消火 地震・津波・火災 通報訓練	地震により調理室より火災発生。園児の避難とその安全確認及び関係職員の任務遂行	0歳児以外は園庭での活動中だったので、靴を履かせることもなく普段より速やかな避難ができた。反省にもあるが、0歳児のベビーカーのベルトがなかなか閉まらず時間をとってしまった。ベルトの確認をするか今後別の避難方法を考えるのか話し合っていく必要がある。避難訓練については、消防署より指摘もなくスムーズな通報ができた。
7/12	避難・消火 地震・津波	・プール活動中、保育者の指示に従い速やかに避難する(4・5歳) ・それぞれが違う活動の中で、職員間で役割分担を行い、速やかに避難する	プール時の避難訓練でいつもと違う状況の中でも、職員も避難行動について見直しをし、話し合う機会を持った。幼児組はプール時各自がヘルメットを2階まで持っていく上履きとヘルメットをセットにして通路に置くことにした。長年タオルを使用していたが、より安全面を考慮し決定した。今後常に試行錯誤しながら進めていく。
8/16	避難・消火 地震・津波	・合同保育中、担任以外の指示でも慌てず、速やかに避難できるようにする ・1歳児はプール活動中の避難を身に付ける	毎月1回訓練をくり返し行うことで、子どもたちはどういう状況でも速やかな避難ができるようになってきている。ヘルメットの着用や靴を履く等細かいことに関しては、子どもだけでなく職員体制も含め、一番安全で速やかな避難の仕方を反省し意見を出し合いながら今後も進めていく。1歳児のプール避難については職員間の役割分担が重要になると感じた。
9/1	避難・消火 地震・津波 火災	・地震の際の基本的な避難行動を身に付ける(シェイクアウト訓練) ・地震による火災発生時の避難の仕方を身に付ける	知らせとともに幼児組は自分たちですぐにヘルメットを被り、かえるのポーズをとることができた。しゃべる子もなく速やかな避難ができた。またプール避難のため今年から2階のプールに上がるたびに各自がヘルメットを被っていたので経験が生かされ今まで以上にスムーズにできていた。日頃の積み重ねの大切さを感じた(雨天のため廊下への避難とする)
10/18	避難・消火 地震・津波	・午睡中、放送や保育者の声で目覚め、避難する。 ・事故等、二次災害が起きないように配慮する。	午睡中の訓練で、戸惑う子もいたが、保育士の声がかけて速やかに避難することができた。日頃からの訓練が身につけていることを実感できた。又服パジャマに変更したことで午睡時もスムーズに避難できよかった。
11/29	避難・消火 地震・津波・火災 消防立ち合い通報訓練	震度6強の地震による津波、火災発生。災害の内容を理解し、園児の避難とその安全確保及び関係職員の任務遂行	園児の避難の仕方は、いつも通り速やかな避難ができ、一人ひとりに身につけていることを確認できた。中には少しふざけてしまう子もいたが、ほとんどの子は真剣な表情で行うことができた。
12/13	避難・消火 地震・津波・火災	震度6強の地震による津波、火災発生。災害の内容を理解し、園児が放送を聞き自ら一時避難し、保育者の指示に従い避難する	0歳児担任は、火災発見後すぐに初期消火にあたり避難行動ができた。0歳児の避難には他のクラスの保育者も誘導に入りスムーズに避難できていた。火災も発生ということで手のマスク呼びかけたが慌てて忘れる子もいたので、普段から手のマスクの練習もしていきたい。

月日	訓練種別	ねらい	反省
1/30	避難・消火 地震・津波・火災	震度6強の地震による津波、火災発生。災害の内容を理解し、園児の避難とその安全確保及び関係職員の任務遂行	園庭で活動中のため、口頭での地震の知らせはスムーズにできた。かえるのポーズもすぐできていたが、ヘルメットを準備する保育士についていこうとする子がいたので、ポーズで待つよう声かけをし、取りに行くようにしたい。0歳児が園庭で活動する時は、ヘルメットの数と置き場所を職員が把握しておくようにする。
1/31	避難 不審者訓練	不審者の侵入を想定し、園児の避難とその安全確保及び関係者の任務遂行	今回の訓練では、テラス側の施錠は難しく保育室の鍵をするのが精一杯だった。各クラス保育室の鍵はするようにする。2階から1階へ不審者侵入を知らせる防犯ブザーが聞こえなかったので2階からブザーを下に投げ、固定電話を使用するなどあらゆる方法で対応していく必要を感じた。次回も設定を変え、役割も変えながら対応する訓練にしたいと思う。
2/27	避難・消火 地震・津波・火災	災害内容を聞き、保育者は臨機応変な行動を取り、指示をする。	村木が火災発生を知らせるとともに、階段下の消火器で初期消火を行う。各クラス地震の知らせを聞き、保育者の指示の下待機することができていた。避難センターへ避難中も、緊張感を持って避難できるよう保育士が声かけをしていくようにする。ヘルメットの装着を普段の生活の中で練習していく。
3/4	避難・消火 火災・通報	春季全国火災予防運動の一環として、初期消火、通報及び避難誘導体制の確立並び防火意識の向上を図る。園児の避難とその安全確保及び関係職員の任務遂行。	全クラス園庭での活動中の避難となり、保育者の指示の下スムーズに避難できていた。乳児は避難車、ベビーカーに誰が乗るのか保育者間での連携が重要だと再確認した。幼児は服マスクができるよう練習を重ねていきたい。

(8) 理事会の開催

《1》第1回理事会（5月23日）

- ①令和4年度事業報告等 関係書類及び財産目録の承認について
- ②新理事、監事候補の議決について
- ③評議員会招集事項の議決について
- ④報告事項

《2》第2回理事会（6月9日）招集手続きの省略

- ①理事長の選出について
- ②報告事項

《3》第3回理事会（10月23日）

- ①令和5年度 第一次補正予算(案)について
- ②経理規程、賃金規程の変更について
- ③令和5年度 特例事業手当(処遇改善加算Ⅲ)の一部変更(案)の承認について
- ④報告事項

《4》第4回理事会（R6年2月28日）決議の省略

- ①運営規程の変更について

《5》第5回理事会（R6年3月18日）

- ①令和5年度 第2次補正予算(案)・令和5年度本部 第1次補正予算(案)について
- ②令和6年度 当初予算(案)について
- ③令和6年度 事業計画(案)について
- ④管理規程・賃金規程・就業規則の変更について
- ⑤報告事項

(9) 苦情処理第三者委員会報告

第1回 令和5年9月8日(金) 19:00～

第2回 令和6年3月18日(月) 18:00～

令和 5年度 親育ち支援 年間研修報告書

施設名 (種崎保育園)

月	取組	対象	保育者のねらい	内容
年間 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園の特性を生かし、保護者が子育てしやすい環境を支援する ・ 保護者と信頼関係を築き、成長を喜び気持ちを共感する 			
4	今年度の取り組みについて	保護者	気になる子どもやその保護者についての共通理解を図り、支援の方法を探る	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援リストの確認 ・ 家庭支援の計画と記録の確認
	こいのぼり運動会	保護者	子どもたちの頑張る姿や成長を見てもらう	子どもの様子を見て、成長を喜び合う
5				
6	参観日	保護者	保育者の子どもへの関わり方を見て、場面での関わりを知ってもらう クラス懇談で、保護者の悩みなどを聞くことで、安心してもらう	遊びの状態や子ども同士の関わりを見る 保護者間で、子どもの成長についてや、悩みなどを話し合う
	基本的生活習慣 取り組み月間	3歳児 保護者	生活習慣の重要性について、保護者の理解を深める	すくすくリズム学習会を開き、「早寝、早起き、朝ご飯」の大切さを伝える すくすくリズムの取り組みの説明をする
7	種崎元気っこまつり	保護者	子どもたちが楽しみながら、表現する様子を参観してもらう	子どものかわいい姿を見て、喜び合う 夜店等で、親子の楽しい時間を共有する
8				
9	敬老の手紙	祖父母	おじいちゃんおばあちゃんに年齢に応じた作品を作り、優しい気持ちを育てる	自分たちが思いを込めて作った作品を祖父母に渡すことで、喜びを共有する
10	運動会	保護者	一人ひとりの子どもが、一生懸命頑張り、挑戦する姿を見てもらう	子どもが頑張る姿を共に応援し、成長を喜び合う
11	基本的生活習慣 取り組み月間	3歳児 保護者	望ましい生活習慣について、保護者の理解を深める	再度、基本的生活習慣の重要性を伝え、見直しをする
12	生活発表会	保護者	当日に至るまでの子どもたちの様子や経過をクラスだよりなどで知らせ、発表する姿を楽しんでもらう	子どもが協力し合い、生き生きと発表する様子を参観する
1	基本的生活習慣 取り組み	4・5歳児 保護者	望ましい生活習慣について、保護者の理解を深める	基本的生活習慣の重要性を伝える 年長児は、就学を迎え、親子で生活習慣の見直しを行う
	5歳児個人面談	5歳児 保護者	小学校入学に向けて、生活習慣の見直しをし、一人ひとりの子どもの成長を伝える	知りたいことや悩みを伝え、話し合うことで、保護者の不安を取り除く
2	参観日	保護者	親子で楽しめる時間を提供する クラス懇談で、保護者の悩みなどを聞くことで、不安を取り除く	園での子どもの様子を参観し、成長を喜び合う クラス懇談で保護者同士、成長を実感しあい、来年度へつなげていく
3	来年度に向けて	保育者	今年度の反省と、気になる子どもやその保護者について、職員間で今年度の経過を確認し、来年度の引き継ぎにつなげる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き継ぎ事項の確認 ・ 家庭支援の計画と記録の確認

令和5年度 種崎保育園 保健実施報告書

【年間目標】		【定期保健行事】			
<ul style="list-style-type: none"> ◎ 生活リズムを整え心身ともに健やかな身体をつくる ◎ 病気になりにくい身体をつくる ◎ 戸外で積極的に身体を動かし丈夫な身体をつくる 		<ul style="list-style-type: none"> ・園医検診 年2回 ・身体測定 2か月/1回 ・歯科検診 年2回 ・尿検査 4・5歳児対象 ・フッ素洗口 4・5歳児対象 ・視力検査 3・4・5歳児対象 			
期	保健目標	活動内容	健康面・安全衛生留意点	保護者・園児への働きかけ	保健事務その他
1期 (4・5・6)	<ul style="list-style-type: none"> ・園生活に慣れ安心して生活できる ・朝食をしっかりとする ・衛生的な生活習慣を身につける ・生活リズムを整え新しい環境に慣れる ・歯を大切にする ・アレルギー児童の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・尿検査(4・5歳児) ・身体測定 ・内科検診 ・歯科検診 ・フッ素洗口 ・新入所時の生育歴、健康状態把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活リズムが整うまで健康観察を丁寧に行う ・睡眠時チェックを行う(睡眠時の事故予防) ・環境変化による事故発生に注意する ・虫歯の状況を把握し衛生指導を行う ・予防接種状況を確認する ・保育室の室温、湿度、換気に配慮する ・衣服の調節に留意する 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生について保健だよりなどを通して知らせる(流行しやすい病気の伝達) ・与薬及び体調不良児対応保育の書類配布、説明をする ・健康診断、内科検診、歯科検診の結果を知らせ、必要に応じてアドバイスをする ・予防接種、乳幼児健診の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー、留意点等を共有 ・各書類の準備、確認 ・尿検査の準備、配布、回収 ・蟻虫検査(保育士:1回/月) (調理員:2回/月) (10月～3月ノロウイルス検査実施) ・歯科保健指導
2期 (7・8・9)	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生的に過ごす ・夏の暑さに留意し、快適に過ごせる ・プール遊びで体力を培う ・あせもやとびひを予防する ・発汗対策 ・適度な運動、休息をとる 	<ul style="list-style-type: none"> ・プール管理の研修会 ・救急救命の研修会 ・プールに関する準備 ・フッ素洗口 ・身体測定 ・腹痛、下痢等の諸症状確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・プールの衛生管理、安全点検を行う ・室内の温湿度を管理をする ・戸外に出るときは帽子の着用を促す ・活動と休息のバランスに配慮する ・こまめな水分補給に配慮する ・皮膚疾患の有無に注意する 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の健康について口頭やお便りで知らせる ・プール遊びの健康チェックに協力してもらう ・熱中症予防を呼びかける ・虫刺されやとびひについて園での対応を保護者に周知する ・夏の衛生管理について知らせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・プール管理日誌の作成 ・予防接種等の確認 ・アレルギー児に対する緊急時対応の園内研修
3期 (10・11・12)	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな運動遊びを通じて体力増進を図る ・手洗い、うがいを習慣づける ・丈夫な体をつくる ・夏の疲労回復に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ・内科検診 ・歯科検診 ・手洗い、うがいの施行 ・身体測定 ・フッ素洗口 ・視力検査 ・気温変化による衣服調節 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の疲れ、気温の差による体調不良に十分に留意し、衣服の調節や休息を促す ・予防接種状況の確認 ・感染性胃腸炎時の吐物、汚物処理方法を徹底する ・身長、体重、体調についてチェックし園医に相談する ・正しい手洗いができるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・内科検診、歯科検診、視力検査の結果報告 ・薄着の習慣をつけるよう働きかける ・手洗い、うがいの大切さを知らせ習慣が身につくよう促す ・胃腸炎罹患時の対応、予防をアドバイスする ・流行しやすい病気の掲示 	<ul style="list-style-type: none"> ・嘔吐物処理の方法の園内研修 ・医療棚、救急用品の確認
4期 (1・2・3)	<ul style="list-style-type: none"> ・寒さに負けず、元気に過ごせるようにする ・一年間の成長発達を確認する ・風邪予防に努め丈夫な体をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・流行性感染症の把握と早期発見 ・部屋の温湿度管理 ・薄着の施行 ・一年間の成長記録のまとめ ・フッ素洗口 	<ul style="list-style-type: none"> ・薄着や散歩などの体力づくりで健康の保持増進を図る ・部屋を換気し、温湿度を適切にし快適に過ごせるようにする ・年長児のアレルギー児の確認を行い学校へ継続的につなげていく ・頻繁な感染症情報を更新する 	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い、うがいに加え、食事や睡眠の大切さを伝える ・厚着は運動の妨げにもなり、危険が伴うことを知らせ協力を促す ・年長児のアレルギー児の保護者に対し学校への提出書類について知らせ受診を促す 	<ul style="list-style-type: none"> ・進級、進学するにあたり予防接種の漏れがないか確認する ・次年度健康管理に関する書類の準備 ・次年度の計画を立てる

令和5年度 種崎保育園 食育年間報告書

期	1期(4月～5月)	2期(6月～8月)	3期(9月～12月)	4期(1月～3月)
0歳	<p>■ ☆内容</p> <p>■ 安定した人間関係の中で、心地良い生活を味わう。 ☆ ゆったりとした雰囲気の中で、保育者に受容してもらいながら、安心して順乳をしてもらったり、離乳食を食べる。</p>	<p>■ 食事の前後の挨拶をして食べる。 ☆ 食事の前後の挨拶を知り、保育士と一緒にいる。</p>	<p>■ 色々な食べ物を見る、触る、噛んで味わうなどの経験をさせる。 ☆ 食事に関心を持ち、自ら意欲的に食べようとする。</p>	<p>■ スプーンやフォークを使い、よく噛んでから飲み込む。 ☆ 口に詰めすぎないように、飲み込んでから次の食材を入れるようにする。</p>
	<p>■ ☆構成環境</p> <p>■ ゆったりくつろげる環境を整え、ふれあい遊びや外気浴等でお腹がすく環境を作る。 ☆ 新しい環境に慣れるよう、特定の保育者の継続的で応答的な授乳及び食事の関わりに配慮する。</p>	<p>■ 椅子と机の間を詰めすぎず、姿勢が安定して食事ができるよう配慮する。 ☆ 挨拶をして食べられるよう、手を添えて一緒に行うよう援助する。</p>	<p>■ 自分でしようとする気持ちを大切に、個々に応じて量や食材の大きさを調節していく。 ☆ 子どもの食べる意欲を損なわないよう一人ひとりの状態に応じて援助する。</p>	<p>■ 口に入れる量や、よく噛むことを声かけしていき、意欲的に食べることができ環境を作る。 ☆ 個々に合わせて援助をしていき、しっかり噛んで完食できるようにしていく。</p>
1歳	<p>■ ☆内容</p> <p>■ 新しい環境の中、友だちや保育者と一緒に楽しく食事をする。 ☆ 楽しい雰囲気の中、意欲的に食べる。</p>	<p>■ こぼしながらも自分で、スプーン、フォークを使って積極的に食べる。 ☆ 食べ物に興味を持ち、自ら進んで食べる。</p>	<p>■ 自分で食事しようとする気持ちを持ち、苦手な物でも少しずつ食べられるようにする。 ☆ 様々な食品調理形態に慣れ、いろいろな食材を口にしてみる。</p>	<p>■ 簡単な食事のマナーを身に付け、バランスよく食事する。 ☆ バランスよく食べる大切さを知りながら、自ら意欲的に食べる。</p>
	<p>■ ☆構成環境</p> <p>■ 机の配置等を工夫し、楽しい雰囲気の中食事ができるよう環境を整える。 ☆ 「おいしいね」等声をかけながら食事の楽しさやおいしさを感じられるようにする。</p>	<p>■ 安定した姿勢で、食事ができるよう配慮する。 ☆ 自分で食べようとする気持ちを大切に、よく噛んで食べるよう声をかける。</p>	<p>■ 楽しい雰囲気の中で完食する達成感が味わえるように、机の配置等を工夫する。 ☆ 量を加減しながら、完食できた喜びを味わえるようにする。</p>	<p>■ スプーン、フォークを使って、三角食べができるよう配慮する。 ☆ 声だけでなく、子どもが器を持つ手を支えるなど、食べやすいよう援助する。</p>
2歳	<p>■ ☆内容</p> <p>■ 楽しい環境に慣れ、友だちと一緒に食事する事を楽しむ。 ☆ 楽しい雰囲気の中、自ら意欲的に食事をする。</p>	<p>■ スプーンやフォークを正しく持って食べる。 ☆ 「下手持ち」「ハキューン持ち」の持ち方に興味を持つ。</p>	<p>■ いろいろな食べ物の味を知り、苦手な物でも食べようとする。 ☆ 保育者とのやり取りの中で、励まされ少量でも食べてみようとする。</p>	<p>■ お箸を使って、食べようとする。 ■ 食事のマナーを身に付ける。 ☆ お箸を持つことに興味を持ち、挑戦する。 ☆ 三角食べを意識しながらよく噛んで食事をする。</p>
	<p>■ ☆構成環境</p> <p>■ ゆったりとした雰囲気の中で落ち着いて食事できるようにする。 ☆ 友だちと一緒に食事をする楽しさを感じられるよう声を掛ける。</p>	<p>■ 持ち方のイラストや写真を掲示し、わかりやすい環境を作る。 ☆ 椅子に座って、落ち着いて食べるように声をかける。</p>	<p>■ 一人ひとりの食べられる量を把握し、調節する。 ☆ 苦手な物を少量でも食べる姿を認め、完食する喜びを味わえるようにする。</p>	<p>■ トングやお箸のおもちゃで遊ぶ環境を取り入れお箸に興味を持てるようにする。 ☆ 一人ひとりの状態に応じて、無理なく箸を経験できるようにする。</p>
3歳	<p>■ ☆内容</p> <p>■ 新しい環境での食事に慣れ、安心して食べる。 ☆ 友達の食べる姿に誘われ、食べる意欲がわいてくる。</p>	<p>■ 歯の役割を知り、よく噛んで食べ、食後の歯磨きを丁寧に行う。 ☆ 歯の役割や歯の大切さを知り、食後は進んで歯磨きを行う。</p>	<p>■ 秋の魚や野菜、果物に関心を持つ。 ☆ 芋ほりを体験し、実際に芋を食べることを通して、自然と食事のつながりに気づく。</p>	<p>■ 箸の持ち方や使い方について興味を持ち、正しく持つ。 ☆ 一人ひとりの状態に応じて、箸を経験させる。</p>
	<p>■ ☆構成環境</p> <p>■ 友だちと食べる事で意欲が増し、楽しく食事ができるようにする。 ☆ 個人差に応じて食事に配慮し、完食した満足感をえられるようにする。</p>	<p>■ 歯ブラシは衛生面に気をつけ、子どもが扱いやすいように配慮する。 ☆ 虫歯になると食品を噛むことができなくなることを知らせ、進んで歯磨きを、歯が丈夫になる食品を食べられるようにする。</p>	<p>■ 収穫、遊ぶ体験等を通して食材を知ったり名前を覚えたりしながら食べる意欲を育む。 ☆ 四季の変化により、いろいろな食材が収穫されることを伝えるようにする。</p>	<p>■ 箸の持ち方や使い方について興味を持ち、正しく持つ。 ☆ 箸の正しい持ち方や使い方を知り、喜んで食べる。</p>
4歳	<p>■ ☆内容</p> <p>■ 食べることに興味を持ち、友だちと楽しく食べる。 ☆ 楽しい雰囲気の中で、自ら意欲的に食事ができるようにする。</p>	<p>■ 様々な食材を食べることが、健康につながることを知る。 ☆ 食べるもので身体が作られる事を知り、食材の役割に興味を持つ。</p>	<p>■ 秋の野菜を収穫する中で、自然の豊かな実りに感謝する。 ☆ 土に触れ、食材の感触を感じ収穫を喜ぶ。</p>	<p>■ 進級へ期待を持ち、食事のマナーを身に付ける。 ☆ 進級することを喜び、自ら食事のマナーを守ろうとする。</p>
	<p>■ ☆構成環境</p> <p>■ 野菜の栽培を行えるように環境を整える。 ☆ 食べ物大切に育てる気持ちで育てる。</p>	<p>■ 食材に関する絵本を読んだり、その日の献立を知ること、関心が深まるようにする。 ☆ 様々な食材が、体にどんな働きかけのをするのかを具体的に話す。</p>	<p>■ これまでに栽培、収穫したものの写真を掲示し、振り返れるようにする。 ☆ 実際の体験が興味に結びつくようにしていく。</p>	<p>■ 箸の持ち方や姿勢など、本やポスターなどで確認できるようにする。 ☆ 友達と一緒に成長や進級の喜びを感じられるような配慮をする。</p>
5歳	<p>■ ☆内容</p> <p>■ 野菜の苗を育て収穫する喜びを知る。 ☆ 自分達で苗を育て、成長していく様子を知り収穫を楽しむ。</p>	<p>■ 友だちと楽しく食事をして、三角食べを意識しマナーを身につける。 ☆ 食事の流れやマナーを再確認し、気持ちよく食事ができるようにする。</p>	<p>■ 友達と楽しい雰囲気の中で食事しながら、時間内に食べる。 ☆ 収穫した物を食べて、苗から成長する過程を知り食への興味を持つ。</p>	<p>■ 食事のマナーを身に付け、小学校の給食に期待を持つ。 ☆ 食べることへの意欲が高まり、マナーを身に付け、当番活動を積極的に行う。</p>
	<p>■ ☆構成環境</p> <p>■ 水やりや肥料の調節を子どもと一緒にしていく。 ☆ 食物が育っていく過程を知らせ食べ物大切さを感じられるようにする。</p>	<p>■ 食事の環境を清潔にし、音楽を流したりして落ち着いて食べることができるようにする。 ☆ マナーを守ることで、みんなが気持ちよく食事ができることを伝える。</p>	<p>■ タイムタイマーを使い、時間の使い方を知る。 ☆ 三角食べができるよう声をかけ、時間内で食事ができるようにしていく。</p>	<p>■ 一日入学で小学校への関心を持ち、さらに意欲をもって食べることができるようにする。 ☆ 食事のマナーを再確認する。</p>
アレルギー対応	<p>個々のアレルギーの状況を生活管理指導表、検査結果をもとに把握し、代替食を提供する。</p>	<p>配膳の間違いが起こらないように、アレルギーマニュアルをもとに、2人以上で配膳の確認をする。</p>	<p>職員間、特に調理職員と連携し、個々のアレルギー状況をしっかり確認しながら把握する。</p>	<p>進級、進学の際には、担当職員同士で引き継ぎをしたうえで、職員会等で他職員にも周知する。</p>

別紙2
種崎保育園 令和5年度 教育及び保育の内容に関する全体的な計画に基づいた報告書

令和5年4月1日現在

事業の目的		・子どもの健全な心身の発達を図りつつ、生涯にわたる人格形成の基礎を培うことを目的とします。 ・一人一人の子どもの大切に見守り、保護者から信頼され、地域に愛される保育園を目指します。			保育理念(事業運営方針)		園児の心身ともに健やかな育成のため設備、環境及び運営の向上に努めます。また各種保育事業に取り組み保護者及び地域に根ざした保育園を目指します。								
保育方針		生きる力の基礎を育成し、豊かな心と、健康な体を育てる保育			園の保育目標		☆心身ともに豊かな子ども ☆意欲を持つ子ども		☆思いやりのある子ども ☆自分で考えて行動できる子ども						
子どもの保育目標 (保育目標・保育の内容ともに年間指導計画の基礎事項・年間指導計画・行事のねらいは別紙)		0歳児	保育者の愛情豊かな受容の下、生理的、心理的欲求を満ち、愛着関係を築く。	3歳児	友だちとルールを守り、創意工夫し、仲よく遊ぶ。	保育時間など		2・3号認定／基本保育時間 標準認定 7:15～18:15 短時間認定 8:30～16:30 延長保育時間 標準認定 18:15～19:00 短時間認定 7:15～8:30 16:30～19:00							
		1歳児	保育者との信頼関係の下、友だちとの関わりを喜び、一緒に遊びを楽しむ。	4歳児	基本的な生活習慣を身に付け、意欲的に行動する。										
		2歳児	身の回りのことを自分でやってみようとする。	5歳児	見通しを持って自ら考え、主体的に行動する。										
■保育所保育に関する基本原則／役割目標		■保育の方法／環境		■保育所の社会的責任		■養護に関する基本的事項		■保育の計画と評価		■幼児教育を行う施設として共有すべき事項		◎小学校との連携(接続)			
児童福祉法に基づき、保育を必要とする子どもの保育を行い、健全な心身の発達を図る。保育に関する専門性を有する職員が、養護及び教育を一体的に行う。保護者支援及び地域の子育て支援等を行う。		健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境を整え、一人一人の発達過程に応じ、乳幼児期にふさわしい体験が得られるように、生活や遊びを通して総合的に保育する。保護者を理解し適切に援助する。		人権に配慮する。子どもの人格を尊重し保育を行う。地域社会との交流や連携を図り、保育の内容を適切に説明する。個人情報に適切に取り扱う。保護者の苦情解決を図るよう努める。		養護とは、子どもの生命の保持及び情緒の安定を図るために保育士等が行う援助や関わり。保育所における保育は、養護及び教育を一体的に行う。養護に関するねらい及び内容を踏まえた保育を展開する。		保育の目標を達成するため、方針や目標に基づき、子どもの発達過程を踏まえた保育の内容が組織的・計画的に構成され総合的に展開されるよう、全体的な計画を作成する。これに基づき指導計画、食育計画等を作成する。保育士等の自己評価を行い、保育内容の改善を図る。		生涯にわたる生きる力の基礎を培うため、保育の目標を踏まえ、資質・能力の3本の柱を一体的に育むよう努める。「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、ねらい及び内容に基づく保育活動全体を通して資質・能力が育まれている子どもの小学校就学時の具体的な姿であり、保育士等が指導を行う際に考慮する。		保育所保育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通じて、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培う。育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教師との意見交換、研究の機会などを設け、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するなどして、保育所保育と小学校教育との円滑な接続に努める。子どもに関する情報共有に関して、就学に際し、子どもの育ちを支えるための資料が保育所から小学校へ送付されるようにする。また資料にも続き、情報交換を行う。			
■保育の目標		・生命の保持・情緒の安定を図り、生きる力の基礎を培う。 ・豊かな体験を通じて、感じたり、気づいたりできるようになる。 ・気づいたことやできるようになったことを使い、工夫し、表現する ・心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営む。													
■養護(保育士が行う事項)		年齢	乳児	1歳児(満1歳より)	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	◎小学校以上の連携に鑑みて 育みたい資質・能力は小学校以上の個別の「知識」「技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」につながるものである。また、子の資質・能力を実現するためにアクティブ・ラーニングを用いる						
		生命の保持	生理的欲求を満ち、心地良い生活が送れるようにする。	一人ひとりに合った生活リズムで過ごせるようにする。	体を動かすことを喜び、健康で過ごせるようにする。	健康な心と体を育て、安心して生活できるようにする。	生活リズムを整え、健康な生活を送れるようにする。	健康や安全への意識を高め、自ら行動できるようにする。							
		情緒の安定	応答的な関わりの中で愛着関係を深められるようにする。	甘えや欲求を受け止めてもらい、安心して過ごせるようにする。	友だちとの関わりの中で自分の気持ちや言葉で表現する。	主体性を持ち、意欲的に活動できるようにする。	保育者や友だちとの関わりを深め、自己肯定感を高められるようにする。	友だちと一緒に力を合わせて取り組み、達成感を味わえるようにする							
◎ねらい及び内容並びに配慮事項(養護と教育は一体となって展開されることに留意)															
◎教育 (園児が環境に関わって経験する事項) ※乳児は3つの視点、幼児は5つの領域で区分されている。(基本的事項を十分に参照) ※指針では乳児と満1歳に区分されているので、満1歳を迎えた場合は1歳児の5領域を参照。 ※子どもの発達や成長の援助をねらいとした活動の時間については、意識的に保育の計画等に位置付けて、実施する。なお、活動の時間については、保護者の就労状況等に応じて子どもが保育所で過ごす時間がそれぞれ異なることに留意して設定する。		(乳児)3つの視点	乳児	(満1-3歳未満児)5領域	1歳児(満1歳より)	2歳児	(3-5歳児)5領域	3歳児	4歳児	5歳児	■幼児期の終わりまでに育ってほしい姿10項目		■教育・保育において育みたい資質・能力の3本の柱		
		健やかに伸び伸びと育つ	ゆったりとした環境の中、一人ひとりに応じた離乳、歩行、発語への意欲を育む。	健康	明るくのびのびと生活し、自分から体を動かすことを楽しむ。	体を十分に動かし、様々な動きや活動を楽しむ。	健康	健康的な生活のリズムを身に付ける。	体を動かす気持ちよさ体験し、意欲的に活動する。	健康で安全な生活に必要な習慣や態度を身につけ、見通しを持って行動する。					ア 健康な心と体 イ 自立心 ウ 協働性 エ 道徳性・規範意識の芽生え オ 社会生活の関わり カ 思考力の芽生え キ 自然との関わり・生命尊重 ク 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ケ 言葉による伝え合い コ 豊かな感性と表現
		身近な人と気持ちが通じ合う	保育者に見守られ、応答的な関わりの中、信頼関係を築く。	人間関係	保育士や子どもとの安定した関係の中で、共に過ごす心地良さを感じる。	保育園での生活に慣れ、きまりを守って過ごす。	人間関係	友だちとの関わりを深め、思いやりを持つ。	自分の思ったことを相手に伝え、相手の思いにも気づく。	友だちと楽しく生活する中で、きまりの大切さに気づく。					イ 気付いたり、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする「思考力、判断力、表現力等の基礎」 ウ 心情、意欲、態度等が育つ中で、よりよい生活を営もうとする「学びに向かう力、人間性等」
		身近なものとの関わり感性が育つ	見る、触れる、探索するなど身近な環境に自ら関わる。	環境	様々な玩具に触れ、手指や身体的機能の発達を促す。	活動しやすい環境の中で、探索活動を通して、感覚の働きを豊かにする。	環境	自然との関わりを深め、興味、関心を持つ。	季節を通して様々な事象に興味を持ち、その季節ならではの遊びを楽しむ。	日常生活の中で数量や図形、文字などに興味を持つ。					
		言葉	応答的な関わりの中、自分の思いや感情を言葉で伝える。	言葉	相手の話を聞き、自分も言葉で表現する力を養う。	相手の話を聞き、自分も言葉で表現する力を養う。	言葉	自分の思いや考えを友だちや保育者に伝え、会話を楽しむ。	経験したことを自分の言葉で表現する力を養う。	保育者や友だちの話を聞き、内容を理解したり自分の気持ちを伝え、会話を楽しむ。					
表現	音楽に合わせて体を動かし、全身を使う遊びを楽しむ。	表現	様々な素材に触れ、経験を通して感性を豊かにする。	様々な素材に触れ、経験を通して感性を豊かにする。	表現	いろいろな素材に親しみ、工夫して遊ぶ。	生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。	考えたことや感じたことを自分なりに表現する。							
★健康支援／状態把握・増進・疾病対応		★食育の推進(食育計画別紙)			★環境及び衛生管理並びに安全管理			★災害への備え			◆子育て支援		△職員の資質向上		
・健康及び保育発達状態の定期的、継続的な把握 ・年2回の嘱託医による健康診断(内科・歯科) ・登園時及び保育中の状態観察、また異常が認められたときの適切な対応 ・年1回職員健康診断及び毎月の検便(10～3月/ロウイリス検査実施) ・体調不良型病児保育の取り組み(病児の養護と看護) ・地域の子育て家庭や妊産婦等に対する相談支援 ・3歳以上児の視力検査の実施 ・4、5歳児尿検査		・栄養バランスを考えた自園給食の提供 ・食育活動の実施 ・全園児へ炊き立て米飯の提供 ・行事食の提供 ・アレルギー食の代替食対応 ・野菜や花の栽培			・施設内外の設備、用具等の清掃及び消毒等、安全管理及び自主点検 ・子ども及び職員の清潔保持 ・感染予防対策指針の作成と実施及び保護者との情報共有 ・コロナ対応(毎日の消毒・体温チェック・手洗いうがいの励行) ・年2回の消防点検及び毎月の消火訓練 ・警察署指導交通安全教室 ・年長児交通安全指導(比島交通公園) ・危機管理マニュアルの作成(感染症対策計画・事故対応マニュアル・プール遊びマニュアル・食物アレルギー対応マニュアル・HACCP)			・避難訓練(火災、地震、不審者対応)の実施(毎月) ・消防署通報訓練(年2回) ・毎月消火訓練の実施 ・避難場所への備蓄の確保・確認 ・年2回外部業者による消防設備点検 ・危機管理マニュアルの作成(消防計画・南海トラフ地震計画・風水害対応マニュアル・事業継続計画)			・全園児連絡帳の活用 ・月1回以上クラスだより配布 ・保健だよりの配布 ・園庭開放及び育児相談 ・在園保護者への支援(子育ての悩み等) ・アレルギー児の食事等相談 ・個人面談		・質の高い保育を展開するため、一人一人の職員についての資質向上及び職員全体の専門性の向上を図るようとする ・研修等に参加し、専門性を高め、結果を活用する ・チェックシートを活用し、自己目標の設定及び反省、評価を行い、資質の向上に努める ・園評価を行い、外部からの意見等を参考にする。		
情報公開等		・園の概要の情報公開 ・ホームページの開設 ・苦情処理解決対応及び第三者委員会設置 ・運営規定、重要事項説明書、前年度決算書類の掲示			特色ある教育と保育			・家庭的な保育 ・2ヶ月児より保育 ・連絡ノートの活用 ・水泳、体育、硬筆教室 ・毎月絵本の読み聞かせ ・縦割り保育の充実 ・アレルギー児対応食の充実 ・親子支援の充実 ・延長保育 ・土曜午後保育実施 ・看護師の専門者の配置 ・防災教育の充実							
地域の実態に対応した保育事業と行事への参加		・地域合同避難訓練参加 ・地域施設との交流 ・地域施設夏祭り参加 ・地域作品展 ・園行事への地域の方の招待			研修計画			・園外研修への参加 ・キャリアアップ研修への参加							
自己評価等		・保育所の評価(全体の反省による全体計画等の反映) ・自己チェックの実施及び管理職による面談			・保育士等の評価 ・園評価アンケート(保護者・学校関係) ・園評価の実施										

別紙

令和5年度 高知銀行 返済報告書

- 1 施設の名称 種崎保育園
- 2 整備種別・年度 改築 ・平成30年 11月竣工
- 3 償還金額

(円)

償還回次	償還期日	償還金額	内訳	
			元金	利子
第52回	R5.4.10	282,898	257,000	25,898
第53回	R5.5.10	285,337	257,000	28,337
第54回	R5.6.12	280,915	257,000	23,915
第55回	R5.7.10	283,336	257,000	26,336
第56回	R5.8.10	284,039	257,000	27,039
第57回	R5.9.11	281,371	257,000	24,371
第58回	R5.10.10	282,910	257,000	25,910
第59回	R5.11.10	282,768	257,000	25,768
第60回	R5.12.11	281,800	257,000	24,800
第61回	R6.1.10	293,551	257,000	36,551
第62回	R6.2.13	285,864	257,000	28,864
第63回	R6.3.11	288,892	257,000	31,892
合計		3,413,681	3,084,000	329,681

4 借入機関等

借入機関	高知銀行		
借入金額	58,500,000		
契約年月日	平成31年2月4日		
償還期限	令和21年1月10日		
償還期間	20年		
無利子期間	なし		
利率	H31.2.4(第1回)~ R5.12.11(第59回) 0.65%	R6.1.10(第60回)~ R9.3.10(第98回) 0.85%	
償還回次	240		
償還金額	63,086,839		
	元金	12,850,000	45,650,000
	利子	1,651,403	2,935,436

※ 令和6年1月10日支払い分より固定金利利率が変更される。(0.65%→0.85%)

※ 固定金利利率は3年毎に見直しが見込まれる。

別紙

令和5年度 福祉医療機構 返済報告書

- 1 施設の名称 種崎保育園
- 2 整備種別・年度 改築 ・平成30年 11月竣工
- 3 償還金額

(円)

償還回次	償還期日	償還金額	内訳	
			元金	利子
第50回	R5.4.10	127,166 + 151,562	112,000 + 150,000	15,166 + 1,562
第51回	R5.5.10	127,106 + 151,556	112,000 + 150,000	15,106 + 1,556
第52回	R5.6.10	127,045 + 151,550	112,000 + 150,000	15,045 + 1,550
第53回	R5.7.10	126,984 + 151,543	112,000 + 150,000	14,984 + 1,543
第54回	R5.8.10	126,924 + 151,537	112,000 + 150,000	14,924 + 1,537
第55回	R5.9.10	126,863 + 151,531	112,000 + 150,000	14,863 + 1,531
第56回	R5.10.10	126,802 + 151,525	112,000 + 150,000	14,802 + 1,525
第57回	R5.11.10	126,742 + 151,518	112,000 + 150,000	14,742 + 1,518
第58回	R5.12.10	126,681 + 151,512	112,000 + 150,000	14,681 + 1,512
第59回	R6.1.10	126,620 + 151,506	112,000 + 150,000	14,620 + 1,506
第60回	R6.2.10	126,560 + 151,500	112,000 + 150,000	14,560 + 1,500
第61回	R6.3.10	126,499 + 151,493	112,000 + 150,000	14,499 + 1,493
合計		3,340,325	3,144,000	196,325

4 借入機関等

借入機関	独立行政法人 福祉医療機構	独立行政法人 福祉医療機構
借入金額	31,300,000	41,700,000
契約年月日	平成31年1月17日	平成31年1月17日
償還期限	令和26年1月10日	令和26年1月10日
償還期間	25年	25年
無利子期間	なし	なし
利率	0.65%元金均等	0.05%元金均等
償還回次	277回	277回
償還金額	34,077,515	41,978,965
	元金	31,300,000
	利子	2,777,515